

JFPAは
5Aの
実現を目指
します！

- ① Adolescent 思春期保健の推進
- ② Abortion 人工妊娠中絶の防止
- ③ Access どこでも誰もがサービスを受けられる
- ④ Advocacy 啓発・提言活動
- ⑤ AIDS STD及びHIV/エイズの予防

家族と健康

一般社団法人 日本家族計画協会
リプロ・ヘルス推進事業本部
健康教育推進本部
協力：公益財団法人予防医学事業中央会
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 <http://www.jfpa.or.jp>
発行人：近 泰男 編集人：桜田 忠宏 henshu@jfpa.or.jp
毎月1回1日発行 年額誌料￥3000+税 1部￥300+税+其

今月のページ

思春期保健相談士、112人誕生
原発事故後の福島で暮らす
母と子の心のストレス

職域保健の現場から②(1)

海外情報クリップ

H P Vワクチンの最近の話題／性機能と肥満

避妊教育ネットワークリレートーク④(48)



(8面) (2面)

トピック

HPVワクチン

市民団体、専門団体主催の セミナーで提言

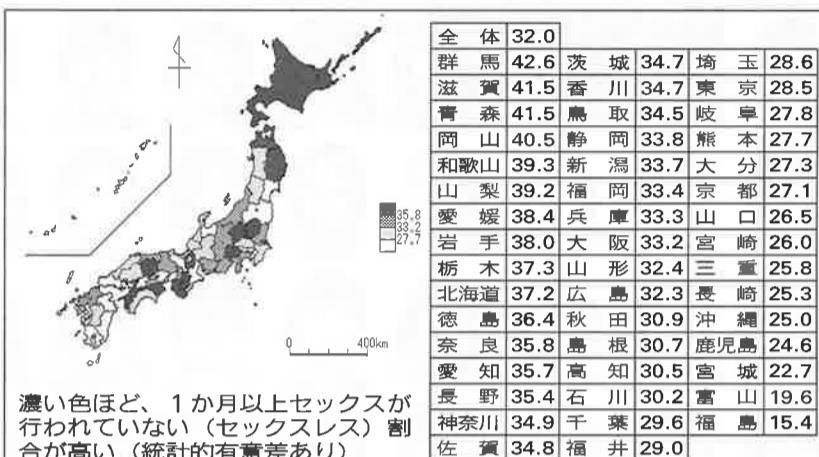
子宮頸がん予防のためのHPVワクチンについてのセミナーが各団体の主催で相次いで開かれ、本会の北村邦夫家族計画研究センターホ所長が講演した。

1月30日、第12回日本子宮頸がん予防・啓発連絡会議が開催。北村所長は、わが国で低

用量ビルが承認される際、糸余曲折があり国連加盟国の中で最後になつてしまつた経緯を例に挙げ、昨年からのHPVワクチン接種の積極的勧奨の差し控えをめぐる状況について、「道を誤らないよう」と提言した。翌31日には日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本婦人科腫瘍学会、子宮頸がん制圧をめざす専門家会議の4団体によるプレセミナーが開催。北村所長は「予防接種をしないことの将来的な損害」に着目し、思春期の若者の健康に責任を持つよう求めた。

第2回 ジェクス・ジャパン・セックスサーベイ

本会、都道府県別に性行動を分析



第2回ジエクス・ジャパン・セックスサーベイは、昨年に引き続き、
本会家族計画研究センターがジエクス㈱からの依頼を受けて実施したもの
ので、日本人のセックスに鋭く迫るために、前回同様インターネットを
通じた調査を行つた。(本会家族計画研究センター所長 北村 邦夫)

はウエイトバック法という手法を用い、各都道府県から回収されたサンプルを実際の都道府県の人口構成比に合わせて集計し直した。ちなみに、人口が最も多い東京都は538人（全体の10.7%）、人口規模が最少の鳥取県は22人（全体の0.4%）という重み付けがなされた。

1月20日にはメディアセミナーを開催し、その後インターネット、新聞ラジオなど各種メディアを通じて調査結果が国内外で報道されている。

▽性交経験、女性が男性を上回る

異性とのセックス経験がある男性は89・6%、女性92・1%。これを年齢階級別に見ると、20代21・1ポイント、30代33・0ポイント、40代0・6ポイント、女性が男性を上回っていた。まさに、若い世代での草食化男子、肉食化女子の存在を彷彿とさせる。

▽セックスの目的、男女とも「愛情表現」

1957年、厚労省は家族計画の事業説明や情報交換を目的とした担当者会議、2日目に研修会と	
本会は1954年の創立以来、家族計画を含むリプロダクティブ・ヘルスの啓発を行い、今年4月で60周年を迎える。指導者たる養成事業は、国家族計画普及事業と歩調を合わせて実施してきましたが、創立当時から現在まで継続している研修会もいくつかある。	月で開催。1日目にロックで開催。1日目に
現在厚生労働省などと共に催す健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)は、1956年、家族計画普及全国大会として、第1回大会を開催した。当時、都道府県の家族計画普及事業は暗中模索の状態だったが、この大会は自治体や指導者としての資質の向上を欲していた助産師らに歓迎され、盛況となつた。当初は日本家族計連盟(以下、連盟)の主催だったが、連盟解散後は本会が継承し、来年度は11月に愛媛県で開催予定である。	会議と研修会を全国5ア
▼またこうした背景から	月で60周年を迎える。指導者たる養成事業は、国家族計画普及事業と歩調を合わせて実施してきましたが、創立当時から現在まで継続している研修会もいくつかある。
本会は長年にわたり培つたノウハウにより、母子保健などにじまらず成人保健などの研修会を全国で開催。すでに114回開催のSRHセミナー、少人数制が好評なショートセミナーなど催事方法も工夫し、受講者から好評である。本会の研修会をスキルアップに活用いただきたい。(T.S)	いう日程で行った。この研修会を本会は現在もロックで開催。1日目に

編集帖

一九〇七年、厚勞省は家

かしこく、正しく、自分らしく あなたが選ぶ避妊スタイル

このサイトはOC(低用量経口避妊薬)や避妊についての正しい知識を身についていただくことを目的としています。

<http://www.hinin-style.jp>





平成25年度第60回思春期保健セミナーコースIII(3月開催)で認定された思春期保健相談士

思春期保健相談士、112人誕生

本会が主催する思春期保健セミナー(コ-スI・II・III)は今年度も盛会裏に終了し、新たに112人の修了者が思春期保健相談士として認定されました。これをもって、思春期保健相談士の認定者は延べ8331人となりました。今後、ますますの活躍が期待される今回認定されたばかりの思春期保健相談士の皆さんに、これから抱負を寄せていただきました。(都道府県順、許可をいただいた方のみ掲載。番号は上の写真)

(編集部)

【北海道】
①大高真美／保健師／思春期の子たちを親に正しい性の知識を普及するとともに、幼稚や小学生、その親にも身体の仕組みを知つてもらい、健全な思春期を迎えるようお手伝いしたいです。

②城石明子／保健師／「思春期保健は一人ではできない」といつも思つています。でもなかなか同志ができぬ現実と闘つています。この資格を取ることで全国の同志と会えました。

③久末愛美／保健師／さまざまな悩みやトラブルを抱えやすい思春期の子どもたちに寄り添い、心と身体がバランスよく成長できる手助けができると思います。

④工藤智子／看護師／性の悩みや避妊などについて

⑤東知英／保健師／これまで多くの幸せな親、愛される子どもが増っています。でもなかなか同志ができない現実と闘つています。この資格を取ることで全国の同志と会えました。

⑥小山千佳子／保健師／一人でも多くの幸せな命の大切さを伝えていきたいです。さまざまな方と連携し、関わりを大切にしながらやつていきた

⑦袖山紗季／教員／小学校での性教育を確立させ、子どもたちに自分の知識や資格を生かしていく

⑧石澤瑠美／助産師／今回家学んだ知識や技術を生かせるように頑張りたい

⑨野村依代／助産師／地域の思春期保健に積極的に関わっていきたいと考

⑩田口紀子／看護師／全ての命が愛しくあること

⑪飯田喜子／保健師／大学生の相談に乗つて

⑫志賀文代／助産師／生きたいです。

⑬福田美希／看護師／思春期の子どもたちに寄り添う姿勢を忘れずに、こ

⑭高増加代子／助産師／思春期の保健に携わってい

⑮山口志津子／看護師／立病院の産婦人科に勤務

⑯蓮實里奈／保健師／思春期を楽しもう♪

⑰廣木由紀子／保健師／思春期真っただ中の子どもたちに寄り添える支援者を目指します。

⑱渡辺純／助産師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

⑲飯田暢子／助産師／第一歩を踏み出したばかりですが、貢献できるよう経験を積んでいかなければなりません。

⑳坂本優子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉑相馬悠／看護師／いたいと思います。

㉒富久尾綾／助産師／思春期の保健に携わってい

㉓堀越康子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉔山崎まゆか／助産師／思春期を楽しもう♪

㉕堤雅子／保健師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉖根岸暢子／助産師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉗山崎美奈／保健師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉘江田美代子／保健師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉙佐藤千鶴／看護師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉚高橋千鶴／看護師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉛中村有紀／教員／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉜柿元陽子／助産師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉝黒田光美／看護師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉞長崎昌子／看護師／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉟中村有紀／教員／思春期相談窓口を開設したいと強く思つて

㉟高澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟長澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟堀越康子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟相馬悠／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟坂本優子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟高増加代子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟高橋千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟佐藤千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟柿元陽子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟黒田光美／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟長崎昌子／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟高澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟長澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟堀越康子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟相馬悠／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟坂本優子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟高橋千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟佐藤千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟柿元陽子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟黒田光美／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟長崎昌子／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟高澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟長澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟堀越康子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟相馬悠／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟坂本優子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟高橋千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟佐藤千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟柿元陽子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟黒田光美／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟長崎昌子／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟高澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟長澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟堀越康子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟相馬悠／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟坂本優子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟高橋千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟佐藤千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟柿元陽子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟黒田光美／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟長崎昌子／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟高澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟長澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟堀越康子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟相馬悠／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟坂本優子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟高橋千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟佐藤千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟柿元陽子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟黒田光美／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟長崎昌子／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟高澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟長澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟堀越康子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟相馬悠／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟坂本優子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟高橋千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟佐藤千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟柿元陽子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟黒田光美／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟長崎昌子／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

㉟高澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟長澤裕子／養護教諭／思春期の保健に携わってい

㉟堀越康子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟相馬悠／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟坂本優子／助産師／思春期の保健に携わってい

㉟高橋千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟佐藤千鶴／看護師／思春期の保健に携わってい

㉟中村有紀／教員／思春期の保健に携わってい

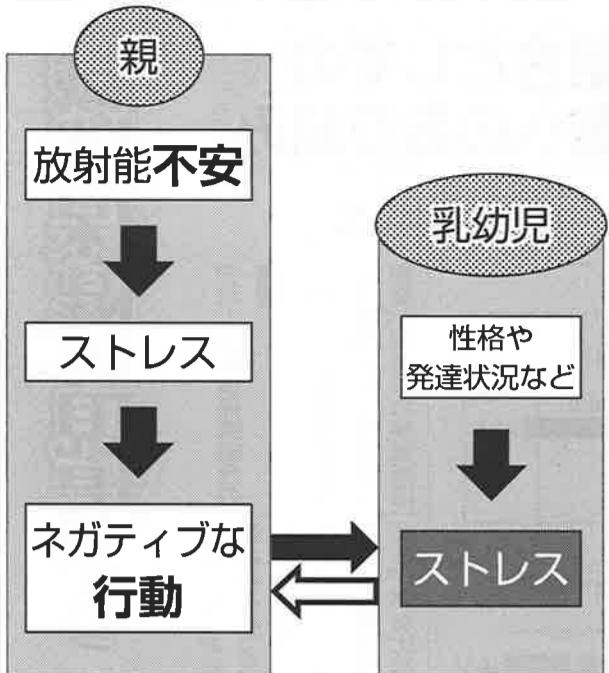


図4 乳幼児のストレスモデル。乳幼児のストレスは放射能不安に由来する親のネガティブな行動がきっかけとなる場合がある

災害のストレス

(左)が続いているといつことだ。
さらに、福島県の保護者の心理的ストレスの大さには地域差がある。
ストレスの高い地域と低い地域に分けられる(注)
低い地域であっても、他県に比べればストレスは高い値を示している。
この差は、地域による空間放射線量の高さの違いと密接に関係する。例えば、福島県中通りの北部(県北と呼ばれる地域)

や、同じく中通りの中(県中と呼ばれる地域)は、福島県内では比較的空间放射線量の高い地域である。そしてこれらの地域に住む人々のストレスが、他の地域よりも際立つて高い。このことは、人々の心のストレスが放射能汚染によって引き起こされているということが、放射能汚染が身体の健康だけではなく、心の健康にも影響を与えることを証明している。

子どもたちが感じる心のストレス

私たちが最も心配している調査結果の一つは、震災後に生まれた子どもたちにもストレス反応が現れていることである。

2012年11月～2013年3月に1歳6ヶ月児を対象とした子どもたちのストレス調査を福島県内で受診した子どもたちのストレス調査の結果と比べて、ストレス得点が上昇していたことが分かった。

この子たちは震災後に生まれた子どもたちだ。震災後に生まれたにもかかわらず、放射能汚染に由来する心理的ストレスの影響を受けるとは、いつたときに気付いた。

わざわざ見られたストレス調査の結果と比べて、ストレス得点が大きくなっている。このことから、1歳6ヶ月児を見られたストレス反応の上昇が、親のストレスによる間接的影響を

受けている可能性があると考えた。

親と子どもの相互影響という問題は、原発事故後に福島で出産した母親の不安がとりわけ大きいことは難くない。震災後に福島で出産した母親の不安が子どもたちに大きな不安がともに現れる。これらの結果から、震災後に福島で子どもを産み育てているお母さんたちの不安がとても大きいことが明らかだ。

このような不安が保護者にとって大きなストレス要因となり、そのストレスが育児や養育行動を妨げている。

私たちが2011年11月～2012年3月に実施した調査の中で、震災後に福島で出産した母親たちは、子どもたちをストレスから守るためにさまざまな取り組みを行なっている。

それらの取り組みによってストレスが低下すると、科学的裏付けは今のところ得られていない。

ストレスへの対処を考えるには、まず、ストレスどのような仕組みで起こり、睡眠が生じたり、あるいはイライラするようになる。ストレスの高い状態にある人は、ネガティブな行動が増えてくる。例えば、攻撃的になるかもしれない、抑うつ的ななるかもしれない。もし、保護者のストレスが高まっているとされることがあるかも知れない。私は、子どもの場合は、ストレスが経験し、その影響が子どもの行動に現れることがあります。放射能汚染が人々の心に及ぼす影響をいかに小さくするか。放射能による心理的被害への対策

これが、子どもたちが感じているときには、身体的被害への対策と同じくらい重要なことです。

たちは考えている。福島の子どもたちの身体的健康が放射能によって害されることは決してあって、そのためにも、一日も早く心理的ストレスを取り除くための効果的な対策を講じなければなりません。

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

る。研究データから次のような心理的ストレスをいくつかつけてきたが、その中の一つが「運動不足」である。福島県内では、運動不足ができるのかについての研究は、これから行われているが、心理的ストレスへの効果といふことに限つて言えば、

放射能汚染が福島県の心を不安化する、放射能汚染を原因とする不安が長期化すると、大人たちはス

トレスを感じるようにならぬ。放射能汚染が福島県の心を不安化する、放射能汚染を原因とする不安が長期化すると、大人たちはス

総合健康保険組合としての保健事業への取り組み

デパート健康保険組合 富山 紀代美

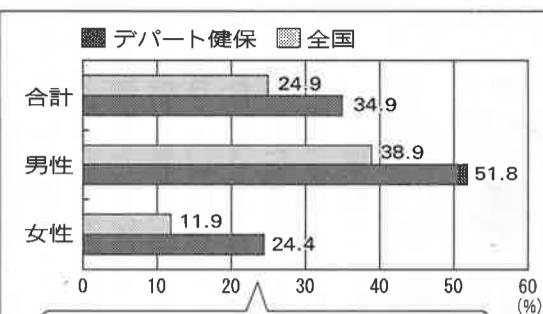


図1 デパート健保と全国の喫煙率比較

職域保健の現場から

(2)

デパート健康保険組合の概要
デパート健康保険組合には全国の中规模の事業所が約300事業所ある。男女比は男性約4

ど加入しており、加入者は被保険者が約10万人、被扶養者が約5万人の合計15万人という比較的大きな健康保険組合である。

多くの従業員任せ多いこと、また、加入事業所の約半数が100人以下といいが当健保の特徴である。

小売業全体は近年の経済問題や未曾有の大震災、少社会の到来による市場

割、女性約6割と女性が多い。年齢構成はパート需要の高い40～50歳代が多いこと、また、加入事業所の中ではヘルシー

以下といいが当健保の特徴である。運営組織として、被保険者らに健康教育を実施した。その中で事業所として取り組む必要性を感じて超えた部分は従業員任せているが、それでも加入事業所の中でも少しくらいの大きさによる人口減少が増えてきている。た

だ、大半の事業所は經營するが、健康保険組合として、運営組織として、被保険者らに健康教育を実施した。その中で事業所として取り組む必要性を感じて超えた部分は従業員任せているが、それでも加入事業所の中でも少しくらいの大きさによる人口減少が増えてきている。た

だ、大半の事業所は經營するが、健康保険組合として、運営組織として、被保険者らに健康教育を実施した。その中で事業所として取り組む必要性を感じて超えた部分は従業員任せているが、それでも加入事業所の中でも少しくらいの大きさによる人口減少が増えてきている。た

だ、大半の事業所は經營するが、健康保険組合として、運営組織として、被保険者らに健康教育を実施した。その中で事業所として取り組む必要性を感じて超えた部分は従業員任せしているが、それでも加入事業所の中でも少しくらいの大きさによる人口減少が増えてきている。た

だ、大半の事業所は經營するが、健康保険組合として、運営組織として、被保険者らに健康教育を実施した。その中で事業所として取り組む必要性を感じて超えた部分は従業員任せしているが、それでも加入事業所の中でも少しくらいの大きさによる人口減少が増えてきている。た

だ、大半の事業所は經營するが、健康保険組合として、運営組織として、被保険者らに健康教育を実施した。その中で事業所として取り組む必要性を感じて超えた部分は従業員任せしているが、それでも加入事業所の中でも少しくらいの大きさによる人口減少が増えてきている。た

だ、大半の事業所は經營するが、健康保険組合として、運営組織として、被保険者らに健康教育を実施した。その中で事業所として取り組む必要性を感じて超えた部分は従業員任せしているが、それでも加入事業所の中でも少しくらいの大きさによる人口減少が増えてきている。た

喫煙対策モデル事業の三本柱

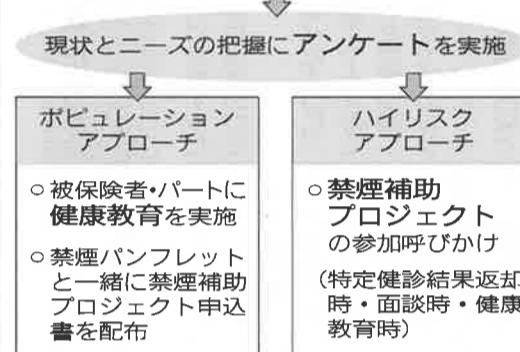


図2 喫煙対策事業

事業所とともに実施した喫煙対策を講じてきました。各加入事業所および被保険者に対してさまざまな対策を講じてきました。

事業所とともに実施した喫煙対策を講じてきました。各加入事業所および被保険者に対してさまざまな対策を講じてきました。

特定健診開始当時の平成20年度の喫煙率が男性53・2%、女性25・0%と全国平均よりかなり高かったことから、保健事業の一つとして重要なことが特定健診対象の必須であったのが喫煙対策であった(図1)。喫煙は特定保健指導対象の一つとして重要なこと

にわたり、あらゆる壁をぶち破りながら続けた。また、運動の思想を堅持し、次の発展に向かって突き進む節目にしたいと願っている。

にわたり、あらゆる壁をぶち破りながら続けた。また、運動の思想を堅持し、次の発展に向かって突き進む節目にしたいと願っている。

玉に上がり、この法律の目的が「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する」(第1条)とあるのは人権侵害そのものだ、との声が特に欧米先進国から上がったのである。日本では「リプロ・カイロ・ヘルスセンター」としての開設が大きな議論となってきた。

議員立法で優生保護法が大きく改正された。すなわち、障害者に対する差別的取り扱いを改めるため、優生思想に基づく諸規定は削除され、「優生」という言葉も全くなくなり、法律の名称も「母体保護法」に改められた。

本会でも、優生といふ言葉は差別につながり、誤解を受けやすいので改めるべきだと主張していた。しかし、議員立法による法律を変えることは極めて難しく、半ばあきらめていただけに、カイロ会

議員立法で優生保護法が大きく改正された。すなわち、障害者に対する差別的取り扱いを改めるため、優生思想に基づく諸規定は削除され、「優生」という言葉も全くなくなり、法律の名称も「母体保護法」に改められた。

本会でも、優生といふ言葉は差別につながり、誤解を受けやすいので改めるべきだと主張していた。しかし、議員立法による法律を変えることは極めて難しく、半ばあきらめていただけに、カイロ会

家族の歩み運営の歩み

本会長 近 泰男

組んでいく拠点として、その名称を「リプロ・ヘルスセンター」

からもカイロ・ヘルスセントター

に来てま

で日本の恥をさらすこと

がつた。

この出来事は政府を

上昇したのに対応する。日本では「リプロ・カイロ・ヘルスセンター」としての開設が大きな議論となってきた。

本会では「リプロ・

カイロ会議での日本

カイロ会議では、日本

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国の反対により激論が交わされ、国际

化された（前回は1984年、メキシコ）。

筆者も政府代表顧問として正式に日本政府

の会議によって確

認されたのは、大変に喜びしいことであつた。もちろんこの採択は、パチカンを中心とするカト

本会は今年4月18日、創立60周年の記念日を迎えるが、60年間由集会の中で、日本の「優生保護法」があり

日本では「リプロ・カイロ・ヘルス」を日本語として普及させるために、

本会は今年4月18日、創立60周年の記念日を迎えるが、60年間由集会の中で、日本の「優生保護法」があり

日本では「リプロ・カイロ・ヘルス」を日本語として普及させるために、

本会は今年4月18日、創立60周年の記念日を迎えるが、60年間由集会の中で、日本の「優生保護法」があり

認されたのは、大変に喜びしいことであつた。もちろんこの採択は、パチ

カイロ会議では、日本

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国

9月、国連主催の「国際人口・開発会議（通称カイロ会議）」がエジプトのカイロで開かれた（前回は1985年、メキシコ）。筆者も政府代表顧問として正式に日本政府

の会議によって確

認されたのは、大変に喜びしいことであつた。もちろんこの採択は、パチ

カイロ会議では、日本

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国

本会が創立当初から言い続けてきた「産む産まないの自由」「自己決定権」などの家族計画の理義が、国連主催の国際会議によって確

認されたのは、大変に喜びしいことであつた。もちろんこの採択は、パチ

カイロ会議では、日本

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国

の会議の最大の収穫は、リプロダクティ

リブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健

ラム諸国や一部イスラム諸国

はもちろん、医療費の過度化が最も優先になっていたと思つていた職業も、加入者のQOLの向上のためにも対策の必要性を強く感じた。

そこで、①現状およびニーズの把握のためのアンケート②被保険者によるニーズの把握のためのアンケート③禁煙に対する取り組みの効果を評価するためのアンケート④喫煙に対する意識調査などを実施した。その結果、事業所の約5千人が対象であつたが、2年目は7

事業所の約1万人に実施された。1年目は3事業所の約5千人が対象であつたが、2年目は7事業所の約1万人に実施された。1年目は3事業所の約5千人が対象であつたが、2年目は7

事業所の約1万人に実施された。1年目は3事業所の約5千人が対象であつたが、2年目は7

事業所の約1万人に実施された。1年目は3事業所の約5千人が対象であつたが、2年目は7

事業所の約1万人に実施された。1年目は3事業所の約5千人が対象であつたが、2年目は7

事業所の約1万人に実施された。1年目は3事業所の約5千人が対象であつたが、2年目は7

事業所の約1万人に実施された。1年目は3事業所の約5千人が対象であつたが、2年目は7

